

事業報告書

<p>事業名</p>	<p>当事者による三色パステルアート普及活動事業及びパラアートによる地域交流事業</p>
<p>【計画時の事業内容】</p>	<p>【実施結果(成果)】</p>
<p>■当事者によるパラアート</p> <p>＝三色パステル普及活動事業</p> <p>三色パステルアートは「赤」「青」「黄」の3本のソフトパステルだけを使用するアートセラピー(芸術療法)です。脳科学と心理学をベースに開発された独自の技法で、パステル画を描きます。</p> <p>三色パステルアートは絵画教室ではないので芸術性の高い美しい作品を描くことより、自由な自己表現を楽しみながら描くことを重視しています。3色しか使わないのではじめてでも簡単。必要な材料も最小限です。いちばん手軽に、誰もが思わず自慢したくなるような絵ができることがその特徴です。使用する画材は初心者向けの安価なものなので、予算が少ない現場でも実施可能です。</p> <p>そういうことから、活動場所は千差万別。場所も、性別も、年齢も選ばない三色パステルアートは誰からも親しまれ、自分らしいスタイルで楽しむことができます。</p> <p>三色パステルアートの普及を進めることにより、障がいのあるなしにかかわらず様々な階層の人たちとの交流を図って行くことができると考えます。</p> <p>こうした目標の実現に向けて、インストラクター資格を持った当事者による普及活動は大いに望まれることだろうと考えます。</p> <p>■三色パステルアートによる地域交流活動事業</p> <p>三色パステルアートによるアートセラピー(芸術療法)は、障がい者施設・高齢者施設をはじめ、被災地や企業のメンタルヘルス研修などさまざまな場面に幅広く導入されています。</p> <p>三色パステルアートは簡単に材料の準備が出来て、子供からお年寄り、障がいの有る無しに拘わらず、絵ゴコロが無くても誰でも描ける上に、描く過程の中で、心の変化が期待される事から「心の扉が開く三色の魔法」とも言われています。</p> <p>こどもの感性教育に有効であり、認知症の予防と改善に効果的とされる芸術療法を実際に体験し、成功体験を得ることができます。実際に、「丸子玉川リハビリクラブ」とい</p>	<p>①</p> <p>7月13日、伊藤インストラクターはパラアートの普及活動の一環としてMさんに3色パステルを描いていただきました。Mさんが車椅子の為、他の会場に行っていただくことは簡単なことではないと判断して、武蔵新城の近くの貸スペース(バリアフリー)を借りて行いました。たとえ一人とはいえ、これも立派な普及活動と判断したからです。ご本人様からは少なからず喜んでいただいたことは言うまでもありませんでした。</p> <p>②</p> <p>7月20日は「中丸子老人いこいの家」において開催。対象は、「丸子玉川(ぎょくせん)リハビリクラブ」の高齢者の方々。ボランティアの方を含めた20名程度です。時間は13時から開始。(別紙開催のお願い参照)伊藤インストラクターの活躍もあり、障がいがあってもこれほどのものが出来るとはと和気藹々の内に終了。</p> <div data-bbox="799 1099 1142 1417"> </div> <div data-bbox="1182 1099 1430 1417"> </div> <p>③</p> <p>8月10日には、「児童発達支援事業所ドナルド」(川崎市高津区久末 2175-1)において職員、児童併せて9名の参加で行いました。発達障害の児童が対象ですので、集中力の持続が懸念されましたが伊藤インストラクターの絶妙の指導で無事作品が完成いたしました。人数も少なく難しいものがあつたのですが、私たちのキャッチフレーズ「ここから始まるパラアート」にふさわしいものになったと確信しております。</p> <p>④</p> <p>10月9日には地域活動支援センターふれあい様で10人規模、精神に障がいを持った方限定のワークショップを開催しました。</p> <div data-bbox="1203 1890 1485 2101"> </div>

う高齢者の片麻痺の人たちにも体験して頂き大いなる好評を得ました。

今後、

① 障がい者施設でのワークショップ

② 高齢者を対象にしたワークショップ

③ 親子を対象としたワークショップ

等を通して、地域、世代、障がいの有る無しに拘わらない地域交流を図っていきたいと考えます。

具体的対象としては、パステルアートを体験してみたい方、アートセラピーはしてみたいけど絵が苦手と思っている方、お子様の教育に携わる方やお子様を持つお母様、お父様、ボランティア参加時の特技にしたい方、介護(老人ホーム等)の現場に携わる方、デイケアとして導入を検討されたい方等々への働きかけを中心として地域連携を進めていきたいと思います。

⑤

10月25日には就労移行支援事業所かわさき@Job様に場所を提供して頂き、一般の方たちに呼びかけ、15人程度の参加を得て、ワークショップを開催いたしました。



⑥

11月15日、川崎市男女共同参画センター(すくらむ21)の東日本大震災で被災され川崎に避難された方たちを対象のホットサロンに13人程の参加をえて開催できましたことは画期的なことでした。皆さま辛い思いを一時的にせよ解消できたと大いに喜んでいただいたので、開催した意義があったと認識した次第です。



⑦

12月19日には「地域活動支援センター オアシス井田」様のご依頼により、オアシス井田のメンバーさん9名、一般呼びかけの人たち5名ほどの参加でワークショップを開催いたしました。皆さまが一樣に出来上がりに驚嘆し、喜んで頂きました。



⑧

1月30日には私たちが地域住民との交流を考えながらも、中々上手く実行できていない現状の中、インストラクターの伊藤さんが所属するワーキングサポート新城の仲間たちがお手伝いしてくれて、近隣へのチラシ配布などを積極的に行い地域住民の方々の参加を得て、地域交流会＝三色パステルワークショップをWS新城にて開催いたしました。どれだけの参加があるか不安を抱える中、12名もの方に参加してもらうことが出来ました。ワークショップの後の雑談の中で、障がいへの理解も大分していただけたのではと思っています。



⑨

2月15日には川崎市精神障害者地域生活推進連合会主催

	<p>の「地域交流会」に参加。この「市精連・地域交流会」は当事者・支援者関係なく、お越し下さる方々や、集うみんながわいわい楽しめるイベントでした。この機会を、「三色パステルアート」の集大成にしようと思っていましたが、期待にたがわず、開始前から満杯の状況で、時間切れで参加できない人が出る状況でした。結局、一度に6人しか座るスペースがないため、12人しか参加できませんでした。参加した人たちは、「おもいがけない」出来栄に感心しきりでした。他事業所様からの開催以来のお呼びかけなどもいただき、集大成にふさわしい盛り上がりとなりました。</p> 
--	---

【計画時の事業の実施効果】	【実際の効果と課題】
<p>① 三色パステルアートは、インストラクターがレシピに沿って教えますので、絵の苦手な方でも、まるで売り物のような作品ができます。それにより自分自身の可能性を感じ自分に自信がついていきます。</p> <p>② 赤・青・黄の三原色だけで無限の色が作れる不思議体験ができます。とっても簡単なので、絵を描くことのコンプレックスが無くなります。絵が描けるようになるだけでなく、集中力がついたり、日頃のストレスから解放されたりします。</p> <p>③ ワークショップの開催で地域住民との交流に取り組みやすい環境づくりが図れます。また、地域の方々からのボランティアを募ることにより、障がい者への理解を深めて頂くことができます。</p> <p>川崎市精神障害者地域生活推進連合会との連携により、障がいへの理解を深めていく地域啓発効果が得られます。</p> <p>④ パステルアートの普及活動は、「垣根のない社会」の実現に向けての大いなる一歩となることができます。</p>	<p>間違いなく参加した人たちが、仕上がりにびっくりし達成感を感じて頂いたと思います。「児童発達支援事業所ドナルド」で参加してくれた児童がつぶやいた「これ売れるかな」の一言が、雄弁に物語っていると思います。</p> <p>東日本大震災で被災され川崎に避難された方たちが、三色パステルアートの楽しさ、達成感などに、避難している苦労を忘れてしまうと、言っていたことは、私たちの望外の喜びでした。たとえ一時にせよ、辛さやストレスからの解放ということを感じて頂いたことは私たちの励みにもなったといえます。</p> <p>私たちの「永遠の課題」と言っても過言ではない地域との交流＝それに伴う障がいへの理解の推進と言うことになれば、手掛かりは掴めたものの、まだまだだというのが本音のところ です。地域との連携を図るためのツールとして「三色パステルアート」は有効な武器であるものの、それをどこで発揮するのかという課題は十分にクリアできていませんでした。私たちの未熟さを反省しなければなりません。そして、そうしたことに対しての、行政などの積極的なご協力＝場所の確保、宣伝、拡散などを切に願うものであります。</p> <p>今回の「パラムーブメント」という機会を得られましたことは、ややもすれば「福祉」という観点からしか上記の課題などに取り組めていなかった私たちに新しい視点を与えてくれたものと理解しています。様々な視点、複合的に考えていくことで「垣根のない社会」を目指していくことに少しでも近づいて行ければと願っております。</p>